

次号予告

特集 線形計画の新潮流

カーマーカー法の観客席から
……………前田英治郎(日本ユニシス)

乗法的障壁関数法……………今井 浩(九州大)

双対問題に対する内点法
……………山下 浩(数理システム)

相補性問題, 2次計画問題への内点法の応用—解
析的中心とそのまわりの楕円体
……………吉瀬章子(東工大)

中心化ニュートン法……………田辺国土(統計数理研究所)

日本オペレーションズ・リサーチ誌編集委員会

委員長	山田 善靖	東京理科大学
副委員長	日下 泰夫	東京都立商科短期大学
委員	相沢りえ子	㈱構造計画研究所
	稲場日出男	工学院大学
	片山 隆仁	防衛庁
	川野幸三郎	日本ユニカー㈱
	城川 俊一	関東学園大学
	木嶋 恭一	東京工業大学
	新村 秀一	住商コンピューターサー ビス㈱
	丹羽 清	㈱日立製作所
	平林 隆一	東京理科大学
	町原 文明	日本電信電話㈱
	松本 康男	㈱三和総合研究所
	矢部 博	東京理科大学

編集後記●昨今、情報ネットワークという語が新聞に載らない日はないくらいに、この言葉は現代社会を語るキーワードの1つとなっているようです。本特集では、いまだその実像が漠然としている情報ネットワークについて、その構築・運用にかかわっている実務家と、その社会・マネジメントに対する意味の解明に興味をもつ学界の人々の両面から、情報ネットワークにアプローチしてみました●当初には情報伝達効率の向上というきわめて機能的な発想から導入された情報ネットワークというハードウェアが、当初は考えられていなかった現象をいろいろと引き起こし、それが新しい社会・文化を生み出しているという事実は、社会現象のおもしろさであり、また複雑さでもあると思います●ところで、先日、インドネシアに行く機会を得て、6日間ほど滞在しました。寒さの特に厳しい今年の日本から、赤道直下気温30度以上の日々の続くインドネシアへの旅は、私にとって初めて

の経験で、メンタルな面でも大変興味深いものでした●当地の大学や研究機関は、電気工学・電子工学等の固有技術の習得・学習に加えて、最近、研究・開発におけるマネジメントについても強い興味をもち始めているようです。優秀な研究者は個人的な興味で研究に従事することが多く、彼らをうまく組織し、いわゆるシナジー効果を引き出すマネジメントの役割が認識されてきたようです。そのような状況で大方の興味を引いたのは「オペレーションズ・リサーチ」誌の昨年の7月号で特集を組んだ「ソフト・システムズ・アプローチ」であり、また問題解決の方法論としてのORでした。概要の紹介の後には、具体的で熱心な質問も受け、現状に対する切実な問題意識が感じられました●表紙の色合いが先月号から変わりました。また、元号も改まり編集スタッフ一同も気分一新 奮闘しております。今後とも本誌の発展にご協力くださいますようお願いいたします。(木嶋恭一)

本誌に記載された記事についての著作権は、社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

オペレーションズ・リサーチ

平成元年2月号 第34巻 第2号 通巻338号
代表者 森村英典
発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会
東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル
(電話 03-815-335~12) 〒113
編集人 山田善靖
発行所 株式会社 日科技連出版社
東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151

- 本誌のご注文は直接 日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価 850円(郵送料含) 年間予約購読料 9600円(郵送料含)
- 本誌への広告お申し込みは明報社(546-1337)、日経弘報社(563-2241)へ